

内科

慢性腎臓病（CKD：Chronic Kidney Disease）について

1. 腎臓のはたらき

腎臓は、腰のやや上の左右にあるこぶし大の大きさの臓器です。
腎臓の主なはたらきは、

- 1) 体内の水分量やナトリウムなどの電解質の調整
- 2) ホルモン分泌と調整
- 3) 血液の浄化や老廃物の排泄(はいせつ) の3つです。



どの機能も大切ですが、特に大切な機能は、3)血液の浄化と老廃物の排泄です。腎臓は、「尿」を作って体の外に不用となった老廃物や水分を排泄し、血液をきれいになっています。

2. 慢性腎臓病(CKD)とは？

腎臓が何らかの原因で機能が低下すると、体の中に老廃物がたまり、さまざまな影響がでてきます。慢性腎臓病の原因には、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症などがありますが、腎機能の低下が3ヶ月以上持続する場合、慢性腎臓病(CKD)と言われます。

検尿での異常(たんぱく尿、血尿)、血液検査での異常(※血清クレアチニン値高値)などで、慢性腎臓病が見つかる場合が多く、クレアチニン値が「2.0」を超えると慢性腎不全と言われます。

慢性腎不全が進むと、末期腎不全という状態になり、透析療法や移植治療が必要となります。



※ 血清クレアチニン値の正常値
男性 1.0~1.2 mg/dl 以下
女性 0.8~0.9 mg/dl 以下

3. 慢性腎臓病が注目されている理由

慢性腎臓病の患者さまは、腎臓の機能が低下するだけでなく、脳卒中、心筋梗塞、心不全、閉塞性動脈硬化症などの生命に関わる病気を引き起こす可能性が高くなります。

これらの病気は、全て 血管系→動脈硬化 の結果、発症します。

4. 治療は？

現在のところ、慢性腎臓病の治療に関する完璧な治療法や特効薬はありません。

そのため、患者さま自身が腎臓の状態・機能を把握して、それに応じた治療や検診の継続と、生活習慣の注意(食事、運動、水分など)が必要になります。

慢性腎臓病は腎機能障害が明らかになってからの対処対応では治療が困難になります。

腎機能が正常な時期に検尿異常(特に尿蛋白が重要)を発見、対処対応が重要です。

★慢性腎臓病(CKD)を予防しましょう

1) 高血圧の方は、血圧コントロールが必要です

2) 糖尿病の方は、血糖コントロールが必要です

3) 高脂血症の方は、脂質コントロールが必要です



4) “たばこ”は、すぐにやめてください

5) 食事の塩分は控えめにしましょう

6) 日常の手洗い、うがいを励行しましょう



何かの病気の予防と似ていませんか？
そうです、脳卒中、心臓病などの予防方法
と同じなのです。

★末期腎不全に対する透析療法

日本で末期腎不全のため透析療法を受けておられる方は、平成20年末現在で28万人を超えています。つまり、日本人の450人に1人は透析されていることとなります。

透析患者数は、毎年約1万人の割合で増加傾向を示しています。

日本の透析医療の水準は、世界でトップレベルですので、適切な時期の透析開始が非常に重要ですが、失われた腎臓の機能は、多くの場合は回復しません。

○繰り返しますが、慢性腎臓病も早期発見、早期治療が重要です。

慢性腎臓病は腎機能障害が明らかになってからの対処対応では治療が困難になります。

腎機能が正常な時期に検尿異常(特に尿蛋白が重要)を発見、対処対応が重要です。



高砂市民病院 腎センター
電話079-442-3981(代表)